

けんしん職員ON&OFF

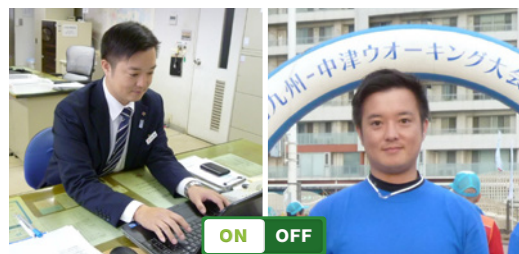
①職員名 ②所属部 ③仕事の心得を漢字一文字でいう？ ④オフの顔

大分東部ブロック同友会



①西野 万寿美 ②津留支店 ③「心」お客様により添える職員を目指します。④「まつりつる」にて子供相撲の行事役として参加した写真です。

中津・下毛同友会



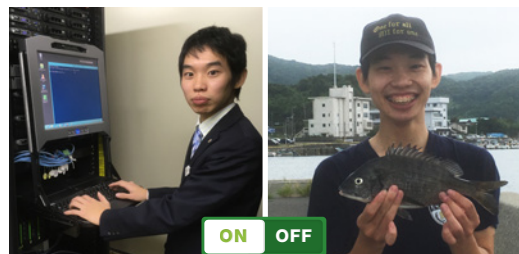
①後藤 泰則 ②福沢通支店 ③「誠」誠心誠意の精神でお客様の気持ちに応えます。④北九州・中津ウオーキング大会に参加した写真です。

杵築同友会



①鈴木 利恵 ②山香支店 ③「笑」常に明るい挨拶と笑顔でお客様をお迎えするよう心掛けています。④若宮地区盆踊り大会に参加した写真です。

業務支援部



①佐藤 鷹彦 ②業務支援部 ③「礼」感謝の気持ちを大切に仕事に取り組んでいます。④佐賀関でクロダイを釣った時の写真です。

けんしん野球部 & 同・友・know?



平成29年7月16日(土)日田市大肥地区にて災害ボランティアとしてけんしん野球部の10名が参加しました。地域社会の一員として、今、私たちにできることを行動に移しました。野球を通じて行える地域貢献活動を今後も継続していきます。

けんしん野球部では、様々な地域貢献活動をおこなっています。



<http://www.oita-kenshin.co.jp>

本号におきましては、大分東部ブロック同友会、中津・下毛同友会、杵築同友会会員の皆さまに取材のご協力を頂き誠にありがとうございました。これからも順次各地域の同友会への取材を企画しております。なお、紙面構成の都合により至らぬ点もあろうかと存じますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。(会報誌編集事務局)

Tomopal

大分県信用組合「けんしん同友会」会報誌 トモパル

■VOL.27 2017年12月25日発行 ■発行 大分県信用組合営業統括部 ■所在地 大分市中島西2丁目4番1号
TEL 097-534-8200 ■企画編集 株式会社アドコンセプト

大分県信用組合「けんしん同友会」会報誌
Tomopal トモパル

2017.12
Vol.27

大分東部ブロック同友会
中津下毛同友会
杵築同友会

光射すその先へ

- 1 特集/TOP INTERVIEW
有限会社 サンスマイル/社会福祉法人
公生会 特別養護老人ホーム とまとの里
T・プラン 株式会社
杵築石油 合資会社
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしん職員ON&OFF





常に挑戦を続ける
代表取締役・理事長
富沢泰公さん

大分東部ブロック同友会

[不動産業・介護福祉事業]

有限会社 サンスマイル／
社会福祉法人 公生会
特別養護老人ホーム とまとの里
代表取締役・理事長 富沢 泰公氏

DATA

所 大分市大字城原2672-1
大在センタービル
(有限会社サンスマイル)
☎ 097-592-5545
🕒 9:00～18:00
📅 日曜、祝日 📍あり

「努力をすれば何事も成る」の 精神で突き進み、 サービス向上と挑戦の毎日

大分市大在の197号線を佐賀関方面に車で走らせると、突如として現れる建物群。そこは通称「とまと村」と言われる介護福祉施設『とまと』グループ。健常者・要支援者専用のアパートタイプ「グリーンとまと」、要介護になったら「とまと1号館」、病気になったら看護師が常駐している「とまと2号館」、この全てが連携連絡を密にし、トータルケアを行っている。この「とまと村」を運営しているのは、不動産業『サンスマイル』の代表取締役でもある富沢泰公さん。富沢さんは地元の大手ゼネコンを退職後、自ら不動産業を立ち上げ地道に業績を伸ばし4年後、前職で培った経験をもとに介護福祉事業に進出した。その際、「今の日本の礎を築いた先輩達が、本当の意味で幸せな終末を迎えるためにはどうしたら良いのか?」という想いから始めたのが“とまと村構想”だそう。一つの場所で連携しつつ見守れる環境を作り、自立できるように支援していく。何かあれば看護師やヘルパーが駆けつけられる距離感、入居者同士の交流ができる場所、そして医療施設との連携を深めることでトータルケアを目指す。昔の“村”のようなコミュニティを介護福祉の世界に持ってきたと言えば、この構想の真

意が分かっていただけのではないだろうか。施設内には、来春開業予定の「特別養護老人ホーム」も建築中。これにより、誰もが手厚い介護が受けられる環境が整う“村”が完成するのだ。「利用者が生活を楽しめる工夫をするために様々なレクリエーションも開催し、私自ら安来節を踊ったり、詩吟を吟じたりしますよ」と笑顔で話す富沢さん。施設を見学した際に見た写真には“安来節全国優勝大会四年連続日本一”の文字が。「大分で安来節を教えてくれる教室に通い、利用者の前で踊ったところ島根県出身の方がいらして、あなたの安来節は本物にはほど遠い」と指摘を受けまして、すぐ島根県安来市の一字川勤名人の本部道場入門、

そこから地元の代表になり全国大会に出場しました」とのこと。その昔、話すのが苦手だった富沢さん。それを克服する為に話し方教室に通って、教室代表として弁論大会に出たり、詩吟をやろうと思えば、地元代表になるまで練習する。とにかく何をやるにも惜しみない努力を重ね、頂点を目指す人。仕事も趣味も全力で頑張ってきたからこそ今があるのかもしれない。「これから、時代の変化に応じて不動産業も介護福祉の世界も変わっていく事でしょう。時代の変化に対応していかなければ置いていかれるだけなので、常にアンテナを張って九州一、日本一を目指していきたいと思います」負けず嫌いの富沢さんの想いはまだまだ続いていく。



不動産売買仲介、宅地開発、不動産コンサルティングを行う『サンスマイル』



上／来春にオープンする特別養護老人ホーム
左／施設内に掲示されている安来節四連覇の写真

姫島村を電気自動車で巡るエコツーリズムをご存知だろうか? テレビや新聞にも多く取り上げられ、ご存知の方も多いだろう。太陽光発電による電気を蓄電して利用するエネルギーの地産地消を目的に、産・官・学が連携したエコツーリズムプロジェクトが「姫島エコツーリズム」。このエコツーリズム事業の核となる蓄電システムを開発し、超小型モビリティと組み合わせ“ゼロ・エミッション周遊”を提案しコンサルティングをしているのが『T・プラン』だ。この蓄電システムの名称が「青空コンセント」と言う。なんと絶妙なネーミングだろう。

「離島には様々な問題があります。特に姫島では、島内で利用する車と、フェリーに乗って職場に向かう島外で利用する車と、一人2台の車を所有するのが普通なんです」と姫島村出身で、代表取締役の寺下満さんは言う。一人2台の車両を所有していれば、税金も車検費用もガソリン代も2倍。そんな現状を

電気自動車で島内だけでもシェアできれば、島民の負担も軽減される。そんな想いから始まった蓄電システムの開発は、通信や電気、自動車関連の技術支援をやってきた会社だからその強み。「自分たちの得意とする分野が地元で貢献出来る技術だったので、当社としては自然な流れでしたし、姫島ではワークシェアリングなどの土壌があるので、車をシェアすると言うのも抵抗なく受け入れられると思います」と寺下さん。また、ゆったりとしたスピードの電動カートなどは、風を感じ鳥のさえずりを聞き、五感で姫島を楽しめると観光客にも好評のようだ。最先端の技術で、スローな観光を楽しむ。都会では味わえない魅力がそこにはあるのだろう。

今後は鹿児島県や山口県の離島からの引き合いもあり、実証実験を行うとのこと。「移動に関する困りごとというのは、交通が整備されていない地方に多くあります。特に離島で暮らす人たちにとっては全国共通、いや世界共通の



2006年に創業以来、ダイハツ九州やSUBARU、トヨタ自動車九州など多くの取引先を抱えている

悩みなのだと思います」。モノづくりの技術集団が、その技術を利用してコトづくりを提案していくというのも、このプロジェクトの面白さなのではないだろうか。

「技術者の役割は社会の発展に貢献することにあると思っています。当社の企業理念は“人なり”なのですが、社員一人ひとりがどんな人間になりたいのか、そのなりたい人の支援をしていくのが当社の役割だと思っています」。そんな熱い想いを語ってくれた寺下さんの“人なり”は、「技術者として、未来の子ども達の為になる“人なり”」なのだ。技術集団として世界に進出する企業の今後に期待したい。

モノづくりだけではなく、コトづくりへ。 社会の発展を創造し続ける技術集団



Co2排出ゼロのレンタカーとして、姫島エコツーリズムで活躍するモビリティ



エネルギーの自給自足ができる蓄電システム「青空コンセント」



姫島の島民の足としても活躍する電動カート

中津下毛同友会

[技術コンサルタント]

T・プラン 株式会社
代表取締役 寺下 満氏

DATA

所 中津市牛神404-11
☎ 0979-53-8880
🕒 9:00～18:00
📅 土曜、日曜、祝日
📍あり
<http://www.tplan0301.com>

20代は人脈づくり、30代は会社づくり、40代で地元で貢献と目標を達成して来た寺下さん。次の目標は、次世代へ道を託す準備なのだそう





清潔感をイメージした青色を基調とした『コロコロコインランドリー』

守江湾を望む本社。石油・ガス販売とは別に不動産賃貸事業などグループ会社を4社有する



『コロコロコインランドリー』にはコンテナハウスを使用したオシャレなものもある



今津留にオープンした最新店舗。近隣の住民に喜ばれている

人に喜ばれる事を続け、
人の役に立てる企業に

昭和31年に創業した『杵築石油』は、石油・ガス販売と不動産賃貸業を主な生業としている企業。今年の7月に衛藤竜一郎さんが代表社員に就任した。「商売の基本は“人に喜ばれる事をする”それだけだと考えています。非常にシンプルですが、人のお役に立てれば自然と人が集まってくると思うのです」と衛藤さん。そんな衛藤さんが今仕掛けているのはコインランドリーの出店だ。「我々が扱っているガスを使って何か事業が出来ないかと考えた時に、コインランドリーは最適でした。自社のガスを使用しますから全国チェーンよりも価格を安くできます」。誰かの役に立つ事が商売に繋がるという考え方で始めた『コロコロコインランドリー』は、大分県内に現在16店舗。価格の安さはもちろんだが、駐車場の広さと毎日行うメンテナンスで安心、安全も提供しているのが特徴だ。「コインランドリーに歩いてくる方はほとんどいせんから、駐車場が広く取れる立地に出店しています。メンテナンスに関してはパートさんを雇う事で地域の雇用も増やす事が出来ます」という衛藤さんの話から、「お役に立つ」意味の深さがうかがえる。“コロコロコインラ

ンドリー”という愛らしいネーミングの由来を聞いてみると「コロコロコインランドリーは、実は妻と長女の雑誌の中から生まれました。洗濯物がコロコロ回ってるからコロコロコインランドリーがいいね!という感じで(笑)」という答えが返って来た。なんとも微笑ましい話だ。アットホームな家庭の中から生まれた新業態。その新業態が、各家庭の生活をより豊かにすることができると衛藤さんは話す。「コインランドリーの中は、80℃の熱風で乾燥させます。この温度でダニも菌も死滅してしまいます。PM2.5等の影響で、屋外に布団や洗濯物を干すことに抵抗がある方もいらっしゃると思います。そういう方達には特に利用していただきたいです。また共働きのご家庭が増

えた事で、奥様方の家事の時間短縮も出来ます。時短が出来れば、家族との時間や自分の時間が取れますよね。その時間を有効に使えば、幸せも増えるのではないですか」

地域に密着し、人に喜ばれることをする。自分たちの持っているモノを、最大限の知恵とアイデアで新業態として展開して行く。商いを通じて様々な社会貢献をして行く企業、それが『杵築石油』だ。

アイデアマンの代表社員・衛藤竜一郎さん。全国各地の神社巡りが趣味で、訪れる土地で様々なことを見聞きして生かしている

杵築同友会

[石油・ガス販売・不動産賃貸]

杵築石油 合資会社

代表社員 衛藤 竜一郎氏

DATA

〒 杵築市大字守江1274-2
☎ 0978-63-9231
🕒 9:00~17:00
📅 土曜、日曜
📍 あり



受け継がれる伝統の技と、 地産地消の新たな挑戦



株式会社 松山堂
代表取締役 曾我 章弘さん



厳選した素材を使用し、心を込めて一つひとつ丁寧に手作りされる和菓子たち

DATA

[和菓子店]

株式会社 松山堂

〒 杵築市大字杵築173-1

☎ 0978-62-2223

🕒 8:30~18:30

📅 不定休

📍 あり

<http://matsuyamado.com>

昭和16年創業という御菓子処『松山堂』。3代目の代表取締役・曾我章弘さんは「食を提供する以上添加物などは一切使用しませんし、地元の優れた物を使って新しい名産品を作り上げたいです」と語る。厳選した北海道小豆の皮を丁寧に剥いだ自家製の皮はぎ餡を使い、地元の老舗《綾部味噌》を使った「みそまんじゅう」は、あっさりとした上品な甘さで人気の一品。自家製の皮はぎ餡は、非常に手間がかかるのだが、雑味が無く上品な甘さに仕上がるのが特徴。その皮はぎ餡は、お店の全ての餡の基本となっている。また、杵築産のみかん、いちご、梅等を使用した「葛あいす」や、地元で生産される鳥骨鶏の卵を使用した「プリン」など、

新しい商品づくりにも積極的に取り組んでいる。「杵築の農産物生産者さんは、非常に良い物を作っています。その良さを自分の技術と合わせることで、新しいものが提供出来ればと常々考えています」と曾我さん。そんな曾我さんはお店のすぐそばの自宅の一部を改装して、『きいろいビートcoffee』というカフェを開業した。「カフェは奥さんが切り盛りしています。最初は松山堂のお菓子とお茶程度と思っていたのですが、杵築観光の役に立てればと思い、ランチも提供するようになったのです」。また曾我さんは近々、クラウドファンディングを使って資金を集め、新商品開発やパッケージデザインに役立てようとしている。杵築の良さを、全国へ発信しようと様々な挑戦をしている『松山堂』の今後の活躍から目が離せない。

キラリ 新風力 New Wind & Fresh Power ふわり 爽風力

環境整備事業で 未来の子ども達へより良い世界を

日本の経済を考える際、製造業を中心に考えがちだが、処理業は必ずついてまわるもの。金属や古紙、瓶・缶・ペット、木屑の再生処理は、経済を循環させる大事な事業の一つなのだが、その工場が自分の周辺にあるというだけで疎まれるのが常である。しかし『平山産業』は、高度な技術と厳密な品質管理、そして地域に根ざした産廃物再資源化企業として、地域における人材の確保、若年層人口の定住雇用の受け皿となり、地域経済に貢献している。代表取締役・平山起吉さんのご両親は韓国籍。ご自身は日本生まれですが、創業当時はいわれなき差別や偏見が多かった。そんな中「人の倍、3倍働かなければ世間は認めてくれない」という想いだけで一心に働き続けた。そうや

って一つひとつ信頼を勝ちとり、今では県が認可する「おおいた有料産廃処理業者」に認定され、今冬には環境省が認可する「優良産廃業者」に認定される予定だ。「ただ実直に業に向き合い、世間に向き合い、社員に向き合い、地域に対して恩返しをしたいという気持ちでいっぱいなんです」と平山さん。

社名も両親から頂いた日本名「平山」を大切にしたいと言う想いから付けられた。「今でも自分を育ててくれたこの国と、地域に貢献したいと思っています。今後は社員と家族が安心して暮らす事ができ、地域に愛される企業になることが目標です」と熱く語ってくれた。

この夏の豪雨災害に出た多くの廃棄物処理も引き受け、月に一度の中津港の環境整備事業にも参画している。事業を通じて未来の子ども達へ、よりよい地域を残す使命も掛け負うリサイクル企業である。



平山産業 株式会社

代表取締役 平山 起吉(崔 起成)さん



中津市三光の本社以外、
にも日田市、大分市、
豊前市に支社を置く

DATA

[製鉄・非金属売買業]

平山産業 株式会社

〒 中津市三光下秣字大源寺310-1

☎ 0979-43-5530

🕒 8:00~17:00

📅 日曜、祝日 📍 あり

<http://hirayama-sangyo.info/>

自動車
修理・販売

株式会社 エフ・ケイ・メカニク

エネルギーの多様化に向け、 大分から全国へ発信する メカニク集団



代表取締役・古川克己さんの熱い技術者魂が社員にも伝播している

平成6年に創業した『エフ・ケイ・メカニク』は、自動車の修理・点検・整備・板金を行う会社だが、他の会社と一線を画すのは“デュアル・フューエル車”の販売とメンテナンスの技術を持っているところ。“デュアル・フューエルシステム”とは、軽油とLPGを混合して燃焼させるシステムで、電子制御によって常に最適な混合比率で運行出来る。ヨーロッパでは大型トラック等に使用されている技術だが、日本では主にタクシーや自動車学校の車両、ガス会社の営業車等に使用されている。取引先は大分県内にとどまらず、全国各地で販売、メンテナンスを手掛けるほど。試行錯誤の中で身につけた技術力で、今後の発展が楽しみな企業の一つだ。



所 大分市三佐6-2-21
☎ 097-522-7555
営業 9:00～19:00
休 日曜、祝日 Pあり
http://fk-mechanic.co.jp



飲食業

コメドール和楽

“和”食を気“楽”に！ 気軽に楽しめるプロの味



カウンターに並ぶ大皿料理の惣菜

お店の暖簾をくぐると、大皿にのった美味しそうな惣菜がカウンターに並べられている。「白和え」や「ちもとと地ダコのぬた」など、最近家庭では作らなくなったおふくろの味の惣菜ばかり。「伝統的な和食の文化を大切にしていますが、もっと気軽に和食を楽しんでもらいたい」と店主の後藤和明さん。後藤さんは、関西で修行をしたのち、大分で店を構えて約30年。奥様と二人で切り盛りする店内は、近所の常連さんや家族連れなどで賑わいアットホームな雰囲気。土日に関係なくいつでも「刺身定食」1,500円などの定食類が豊富なので、若い人たちにも人気。体に優しい家庭料理と、プロの和食を気軽に食べたいなら是非一度訪れて欲しいお店だ。



原価管理
システム製造販売

ミヤシステム 株式会社

建設業界とともに育つ、 人材育成と信頼に繋がる ソフトウェア



建設会社の立場に立ったシステムが全国で評判

『ミヤシステム』は建設業における原価管理システムのソフトウェアの製造・販売を行っている会社だ。元々は、建設業を営んでいた先代が自社のために開発したシステムが始まり。現場の悩みを解消する視点を重視し、建設業に則した使い勝手のいいシステムと、全国で評判になっている。今までは現場監督に依存し、経験がモノを言う世界だったが、このシステムを導入する事で若手の現場監督もコスト管理や労務単価が自然と身につくようになるという。先代から引き継ぐ想いは「同じ悩みを抱えている建設会社を救う事」、そして「このシステムを全国標準化する事」と目標を高く掲げ邁進する企業だ。



飲食業

有限会社 卯昇

こだわりのうどんを、 四季を通じて楽しめるお店



うどん本来のうまさを味わうなら「ざるうどん」がオススメ

『卯昇』は、中津市宮夫の『卯呑や』と中津市万田の『うどんの庄 丸亀』を運営する会社。うどんの生地は温度変化に対して非常に敏感なもの。この会社では、手打ちうどんの基本“土三寒六常五杯”を守ること、つまり土用の頃の暑中には塩一杯を水三杯に溶かした濃い塩水で小麦粉を練り、寒中は逆に六杯の水で溶かした薄めの塩水を使い、春と秋は塩一杯を水五杯で溶いた塩水で丁度良い、という教えを守っているのである。また、使用する塩も沖縄から取り寄せた天然塩、出汁に使う削り節も京都から直接仕入れた新鮮な物を使用するなど、職人らしいこだわりがある。独特のコシと、なめらかさを味わえるうどんを食べたいなら、是非一度ご賞味を。



ビルメンテナンス

株式会社 西澤

お客様の信頼関係を大切に。 環境衛生管理産業を通じて 人々の健康を



確かな技術と誠意を持った仕事で、大きな信頼を得てきている

代表取締役の西澤敏彦さんは、全くの畑違いの仕事から先代が創業したメンテナンス会社を引き継いだ。その時痛感したのは、お客様との信頼関係の大切さだった。「ビル清掃は、オーナー様から鍵を預かって行う仕事です。作業中の建造物の破損などのもつてのほか。お客様に、我々に任せて安心していただく事が大前提なんです」と西澤さん。入社後自ら「建築物環境衛生管理技術者」の国家資格を取得し、今でも新入社員の研修を率先して行う。「自分たちのやっている事は、人の健康管理に関わる環境衛生管理産業なんだと誇りを持っています」。ただキレイにするだけではなく、使う人、そこに集う人の事まで考えた仕事を実践し、お客様に安心と満足を提供する実直な会社である。



所 大分市牧2-2-10
☎ 097-558-8758
営業 9:00～18:00
休 土曜、日曜、祝日 Pあり
http://www.nishizawa-inc.jp



卸売業

耶馬溪しいたけ販売店

低カロリーで栄養抱負。 こだわりの乾椎茸を全国へ



安定した品質、安心・安全な乾椎茸製品を卸している

乾椎茸は「全国乾椎茸品評会」で18年連続優勝するなど、生産量・品質ともに日本一を誇る大分県の代表的な産物。その乾椎茸を扱う『耶馬溪しいたけ販売店』は、【大分乾しいたけトレーサビリティ参加業者】。これは全国でも41社しか認められておらず、「大分県産」と表示がされ乾椎茸製品が、確かに大分県内で生産された乾椎茸だと証明出来る仕組みだ。「本当に良いものを提供するために、通常2週間程の冷凍保存を当社では、1ヶ月ほどしています。これをする事で色や香りも保たれるのです」と代表の松葉和則さん。近頃では低カロリーで栄養抱負な自然食品として注目されている乾椎茸。消費者に安心と安全を届けるこだわりの乾椎茸を贈答にいかがだろう。



所 中津市耶馬溪町金吉2-2
☎ 0979-56-2333
営業 8:00～17:00
休 日曜 Pあり

